

令和6年度 浜松特別支援学校城北分校 学校経営計画書

1 目指す学校像

(1) 教育目標

共生社会の中で「自分らしく力強く生きる人」を育てる

<城北分校>教育目標

自分の良さや個性を発揮して地域で学び、共生社会の一員として職業的に自立する人を育てる。

将来、職業自立する人 自分時間を楽しめる人 自他を愛し愛される人

(2) 目標具現化の柱

- ア <授業> 個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校
- イ <安全> 命を守り、人権を尊重した安全で安心な学校
- ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校
- エ <チーム> 全教職員が主体的に学校づくりに参画する学校

2 本年度の主な取り組み

取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア <授業> 個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校			
生徒が夢中になれる学校生活づくり	○時期毎のテーマの検討 ○時期ごとのテーマを核とした年間指導計画の作成	時期毎、取り組むべきことを明確化・焦点化し指導を行っている。	学部 学年
協働的な学びの充実	○集団で取り組む良さの確認 ○少人数での取組みの見直し ○内容に照らした集団編成	集団で取り組む(友だちと取り組む)良さを生かした授業を実施している。	学部 学年
個に応じた指導の充実	○実態の把握(保護者・本人の願い、教員による課題の把握) ○検討時間の確保	実態・課題から願う姿をイメージし、個別的教育支援計画や指導計画の目標を設定している。	教務課
自立活動の充実	○自立活動の基礎研修 ○流れ図活用のための研修と目標設定 ○外部講師による校内研修	流れ図から指導すべき目標を導き出し、教育活動全体を通じた指導を使い、効果的に指導を行っている。	研修課
作業学習の充実	○生徒のやりがいを大切にしたい作業学習の授業研究 ○職業と関連付けた学習の導入	成就したいことは何かを明確にし、最良のテーマを基に夢中になる授業づくりをしている。	研修課
ICTの活用の促進	○研修会の実施 ○BYOD ルールの検討 ○Google アカウントの整理及び活用	ノートパソコンやタブレット等を利用し、「個別最適な学び」「共同的な学び」を目指した授業づくりをしている。	教務課
道徳指導の充実	○各教科の年間計画の中に道徳的観点を位置づけていく。(これまで特活に含まれた活動の一部を道徳に位置付ける)	道徳指導の観点から押さえるべき内容を確認して、各教科で合わせた指導を行っている。	教務課

イ <安全> 命を守り、人権を尊重した安全で安心な学校			
命を守る意識と行動力の向上	○さまざまな状況を想定した避難訓練に実施と事前事後学習	生徒が自分で考えて自らの身を守る行動をとることができる。	生徒指導課
安全・快適な環境づくり	○毎月の安全点検実施 ○定期的な職員作業(学期1回) ○生徒会(委員会)と連携した活動	施設を効果的に活用するために、廃棄・片付け・清掃に自ら気付き取り組んでいる。	体育保健課 企画会
事故防止の強化	○ヒヤリハット報告書の作成 ○ヒヤリハットの状況検証と指導改善	怪我の予防、不慮の事故を無くすよう、児童生徒の実態に応じた配慮を行っている。	体育保健課
人権を守る意識と行動力の向上	○人権研修会の実施 ○自己チェックの実施 ○人権の話題の随時配信	学校が生徒の居場所(安心する場)となるよう、人権を意識した言動を心掛けている。	生徒指導課
ウ <協働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校			
発信力の向上	○広報活動の見直し ○Instagramによる配信	学校をより理解してもらえよう、伝え方、発信の仕方を工夫している。	企画会 教務課
進路指導の充実	○進路指導の手引きの配付、活用 ○キャリア・パスポートの有効活用 ○授業における外部講師の活用 ○実習先動画のデータ管理	生徒の「夢」を育み、本人・保護者の「願い」を大切にした進路指導をしている。	進路指導課
センター的機能の充実	○メール等での連携校への啓発	高等学校のニーズに対応するため研修支援等への依頼に応じている。	生徒指導課
エ <チーム> 全教職員が主体的に学校づくりに参画する学校			
コミュニケーション力の向上	○各種研修(コミュニケーション等)の実施	働きやすいチームとなるよう、相手の立場に立った伝え方、受け止め方を心掛けている。	企画会
城北分校教職員としての自覚の向上	○新たな作業学習班(自主生産作業)の検討 ○各学習活動における使用教室との調整	生徒定員数増に伴い、すべきこと・できることを考え、実践している。	企画会
働き方改革の推進	○学習集団・指導体制の見直し ○持ち時数、空き時間の再検討 ○学年内での空き時間の調整	特別な場合は除き、週に複数回、事務処理時間を確保している。 時間外勤務 45H/月以上が連続する職員はいない。	学部 学年 企画会
倫理観の向上	・校長による講話 ・不祥事根絶研修の実施 ・自己チェックの実施	不祥事0件	管理職